

～最終章～

Go for it !!

豊中市立第五中学校
第62期 第3学年
学年通信第24号
2015年11月10日



第3回実力考查 講評

私立高校入試まであと3ヶ月となりました。今回の実力考查は、これまでの考查とは少しちがう緊張感をもって臨めたのではないのでしょうか。今回の結果を踏まえて、今週末からはじまる三者懇談会で皆さんの進路の方向性を固めていきます。各教科の振り返り、自分の学習状況の振り返り、そして次目指していくべき目標について、しっかりとじっくりと考えていきましょう。

【国語】 どの分野も全体的によくできていました。二回目の実力テストで課題としてあがっていた文法や、古文をある程度攻略できた人が多かったです。俳句は約50%、文法は約65%、エッセイは約60%、古文は約70%、漢字は約60%の正答率でした。今回は記述式の解答が少なかったのですが、文章の要点をとらえて要約できる力を今後つけていってほしいと思います。具体的には、問題集などで短い文章を数多く読み、中心文を探して要約することをおすすめします。敬語は尊敬語、謙譲語の動詞を覚えて、日常生活で使い慣れていきましょう。漢字は、『漢字の完全マスター』の基礎編を何度も読み書きして完全マスターしてください。

【理科】 これまでの学習内容が全て範囲となったテストでした。幾度となく範囲も伝えていましたが、直前になっても範囲を確認していたり、あまり危機感が感じられなかったことが残念です。反面、日々復習をし、質問にきたり、授業を大切にがんばっている人もたくさんいました。普段から、できることをどんどん頑張っていける人が増えてくれることを期待していますよ。

前半は物質、エネルギーの単元、後半は生命、地球の単元からの出題でした。前半部分では4. 電気の分野、3・5の反応式の辺りの問題、後半部分では7. 地層、9. 天気分野の問題が全体的に正答率が低かったため、教科書、便覧、問題集をうまく活用しながら今一度復習をしていきましょう。今回は範囲に含まれていませんでしたが、今学習している運動や仕事の問題も、日々の授業を大切に学習を進めていきましょう。

【社 会】 2学期以降の、本格的な学習の成果を問うテストでしたが、いかがでしたか？
9月の第2回に比べて、公民的分野も含めた3分野のテストでしたが、着実に力をつけた結果
とはいいがたく、結果は前回よりも伸び悩んでおり、心配な人が少なくありません。

地理的分野は、全体的に見ても学習不足が感じられました。時差計算や農業分布、日本の気
候区分など、いずれも基本的な内容ですので再確認してきましょう。

歴史では、明治以降の近代史では、事象の因果関係や世界の動きと日本とのかかわりを、繰
り返し教科書を読み直すなどして、たしかなものにしておきましょう。覚えようと思う項目は
内容説明の文章とセットにして、とにかく反復して読んだり書いたりすることが不可欠です。
ただやみくもに暗唱しても記憶量は増えませんよ。

公民的分野は常に日々の学習と直前までの定期テストの出題内容を意識しておきましょう。
最近やっていることだから、と油断をしていると地理・歴史の後回しになり、結果として足を
引っ張ることになります。次回の実力テストに向け、当たり前の復習を日々続けましょう。と
にかく、失敗したりうまくいかないからと言ってあきらめたり立ちすくんでしまっても何
の解決もしません。一歩ずつ、前へ歩みを進めましょう。

【数 学】 今回の実力テストでは、みなさんの日頃の頑張りがあらわれたものだったと思
います。学年の平均点も第1回と比べても約20点アップまでになり、例年の3年生と同
じところまで来ています。今回の結果に一喜一憂せずに、今後も取り組んでいってほしいと
思います。

みなさんの答案を見ていて気になったところがありました。①と②は基本的な計算問題
だったので確実に取ってほしかったのですが、②の(4)のような2次方程式は半分くらい
の人しか取れていなかったの、よく復習しておくようにしてください。④の(1)は「±」を
書き忘れていた人がいました。「平方根を求める」ということはどういうことなのかを知っ
ておきましょう。⑤(1)は「反比例」の代表的な問題です。1年生の時に扱ったことのある問
題でしたが、正答率は低かったです。⑥(4)は四角形ABCDが「ひし形」からか、正答率が低
かったです。ひし形の性質を理解していれば解けた問題だったかなと思います。

テスト返しの時間に、実力テストのときはしてもらっていない「テストレポート」をし
てもらいました。全クラスとても良い雰囲気、よく頑張っていました。分からない問題があ
れば先生や周りの友達に教えてもらっている様子や困っている友達に教えている様子が多
くみられました。「人にものを教える」ということは、自分が理解を深めていなければでき
るものではありません。しかし、62期は「教え合い」の場面が授業外でもみられ、感心して
います。今後もこの取り組みは大事にして、最後まで気を抜かず頑張っていきましょう！

【英 語】 この夏がんばった成果が発揮されたでしょうか。皆さんいかがでしたか。

前回の中間考査での反省点（つづりミスや書き写し間違い）については、おおむね改善されていました。ほんの少し意識するだけでケアレスミスは軽減されるのです。今後もこの「ちょっと注意してみる」を続けてください。

今回の振り返り点として、テスト返却時に3点お伝えしました。

- ① 基本単語・基本熟語の覚えなおし
- ② 日本語訳は“正しい”日本語で
- ③ 長文読解のトレーニング不足

①については、1月～12月までの月のつづりや曜日のつづりをはじめ、教科書本文でてきた単語は最低限覚えておかなければならないものです。「わかっているつもり」ではなく「100%自信をもって発音できる&書ける」レベルまでしっかりと覚えなおす必要があります。基本熟語についても同じです。年末までには基本単語&熟語の復習を終えておきたいですね。

②についてはほぼ全員に言えることです。もう一度、自分の日本語訳を読んでみてください。日本語として自然に聞こえますか。主語と述語が正しくつながっていますか。日本語訳の問題は、ただ単に単語の意味を書いてつなげればよいものではありません。「日本語としてどうなのか」「相手にすんなりと伝わる日本語か」という観点を忘れないでください。

③については、ここから入試本番までの間にコツコツとやってほしいことです。毎日の授業で、50分間ずっと長文読解問題をやるわけにはいきませんので、家庭学習の中で自分ができるレベルの問題から手をつけていってほしいのです。テスト返却時に紹介したような問題集を本屋さんでちょっとのぞいてみてください。中1、中2レベルの問題からでいいのです。いきなり入試問題対策からやる必要はありません。できるところからがスタートです。まだまだ十分間に合います。今から Happy Homework をやろうかな or やっておいたらよかったかな…と思った人は、遠慮なく菅谷まで言いに来てください。また、Happy Homework のプリントが手元にたまっている人も、さあはじめましょう。次の目標を見ずえて前進あるのみですよ。